

バックナンバーのまとめ【第112回生物統計学】

いつも本ブログを閲覧いただきありがとうございます。

これまでに掲載してきたブログのバックナンバーを一覧にまとめました。

本ブログをお読みになり、疑問に思った点やこういった情報が欲しいなどのご意見がありましたら、是非弊社までお問合せください。

03-3818-0610

info@orthomedico.jp

また、計画段階から統計に関するご相談も承れますので、是非お問い合わせください。

No	タイトル	ガイドライン
1	プラセボ効果を抑制する研究デザイン!?	-
2	食品の臨床試験において、真のエンドポイントを考える	-
3	臨床試験データの集計・解析における盲検性維持へのリスクと対策	-
4	統計学的有意性を表す指標である P 値の取扱いを考える	-
5	臨床試験で発生するデータ欠測のメカニズム	-
6	有害事象をどのように集計するか?	-
7	目標症例数を設計してみる	-
8	検定の紹介『Student の t 検定』?	-
9	COVID-19 のデータセットを取得する	-
10	COVID-19 のデータセットから R を用いてヒストグラムを作成する	-
11	アンケート等の総合得点における統計的留意点の紹介	-
12	統計関連のガイドライン	-
13	多重性とは?	-

No	タイトル	ガイドライン
14	多重性の問題が生じる要因	-
15	RCTにおける例数設計のためのガイダンス	-
16	症例数を設計する理由	-
17	クロスオーバーデザインを拡張する	-
18	検定の紹介『対応のある t 検定』	-
19	検定の紹介『Mann-Whitney の U 検定』	-
20	検定の紹介『ウィルコクソンの符号付き順位検定』	-
21	検定の紹介『カイ二乗検定』	-
22	検定の紹介『Student の t 検定』	-
23	【YOUTUBE】第 1 回機能性表示食品と統計 (part1)	-
24	検定の紹介『Welch の t 検定』 (part1)	-
25	サブグループ解析と層別解析	-
26	差と比とパーセント	-
27	試験デザインの紹介	-
28	【YOUTUBE】第 1 回機能性表示食品と統計 (part2)	-
29	データの質について	-
30	二値アウトカムの取り扱い	-
31	【YOUTUBE】第 1 回機能性表示食品と統計 (part3) 【第 31 回生物統計学】	-
32	相関分析と回帰分析	-
33	データの種類について	-
34	ロジスティック回帰を主解析とした臨床試験	-
35	【YOUTUBE】第 1 回機能性表示食品と統計 (part4) 【第 35 回生物統計学】	-
36	一般化可能性	-
37	臨床試験におけるデータマネジメントの役割について	-
38	カテゴリデータの経時的変動を評価する手法	-
39	新年のご挨拶	-
40	回帰分析におけるモデルの適合度の評価	-

No	タイトル	ガイドライン
41	データベースの構造の種類について	-
42	臨床試験においてリッカート尺度をアウトカムとした場合の解析手法	-
43	重回帰分析とその実用例	-
44	二重盲検は二重ではない	-
45	臨床試験の品質管理に用いられる補助ツール	-
46	符号検定と Wilcoxon の符号付き順位検定	-
47	co-primary endpoint	-
48	欠損値の補完方法	-
49	区間推定の考え方	-
50	データベースの負荷やリスクの軽減について	-
51	対数変換について	-
52	実臨床に近い試験デザイン ～PROBE 試験～	-
53	リレーショナル型データベースについて	-
54	F 分布と等分散性の検定	-
55	ランダム化のアルゴリズム	-
56	臨床試験での不完全例の取り扱い	-
57	データマネジメントに関する資格「CDMP」について	-
58	分散分析の概説	-
59	クリニカルマネージャーの役割について	-
60	多重比較法について	-
61	位置に関する代表値	-
62	プロトコルにアウトカムを記述する	SPIRIT 2013 statement
63	プロトコルにサンプルサイズを記述する	SPIRIT 2013 statement
64	プロトコルにランダム化の手法を記述する	SPIRIT 2013 statement
65	プロトコルに盲検化の方法を記述する	SPIRIT 2013 statement
66	プロトコルにデータ収集方法を記述する	SPIRIT 2013 statement
67	プロトコルにデータマネジメント計画を記述する	SPIRIT 2013 statement
68	プロトコルに統計学的手法を記述する	SPIRIT 2013 statement
69	試験参加者の流れを記述する	CONSORT 2010 statement

No	タイトル	ガイドライン
70	ベースライン・データ (Baseline data) を記述する	CONSORT 2010 statement
71	解析された人数について記述する	CONSORT 2010 statement
72	アウトカムと推定について記述する	CONSORT 2010 statement
73	補助的解析 (Ancillary analysis) を記述する	CONSORT 2010 statement
74	統計解析計画における試験の枠組みの記述	Guidelines for the Content of Statistical Analysis Plans in Clinical Trials
75	統計解析計画における試験の統計学的中間解析と中止基準の記述	Guidelines for the Content of Statistical Analysis Plans in Clinical Trials
76	最終解析の時期について記述する	Guidelines for the Content of Statistical Analysis Plans in Clinical Trials
77	アウトカム評価の時期について記述する	Guidelines for the Content of Statistical Analysis Plans in Clinical Trials
78	信頼区間と P 値を記述する	Guidelines for the Content of Statistical Analysis Plans in Clinical Trials
79	遵守とプロトコル逸脱について記述する	Guidelines for the Content of Statistical Analysis Plans in Clinical Trials
80	解析対象集団について記述する	Guidelines for the Content of Statistical Analysis Plans in Clinical Trials
81	スクリーニングデータについて記述する	Guidelines for the Content of Statistical Analysis Plans in Clinical Trials
82	適格基準について記述する	Guidelines for the Content of Statistical Analysis Plans in Clinical Trials

No	タイトル	ガイドライン
83	募集について記述する	Guidelines for the Content of Statistical Analysis Plans in Clinical Trials
84	中止・追跡について記述する	Guidelines for the Content of Statistical Analysis Plans in Clinical Trials
85	ベースラインの患者特性について記述する	Guidelines for the Content of Statistical Analysis Plans in Clinical Trials
86	アウトカムの定義について記述する	Guidelines for the Content of Statistical Analysis Plans in Clinical Trials
87	解析方法について記述する	Guidelines for the Content of Statistical Analysis Plans in Clinical Trials
88	欠損データの定義について記述する	Guidelines for the Content of Statistical Analysis Plans in Clinical Trials
89	追加的解析について記述する	Guidelines for the Content of Statistical Analysis Plans in Clinical Trials
90	有害事象について記述する	Guidelines for the Content of Statistical Analysis Plans in Clinical Trials
91	統計ソフトについて記述する	Guidelines for the Content of Statistical Analysis Plans in Clinical Trials
92	安全性試験の症例数について考える	-
93	予備解析を実施する	The “Statistical Analyses and Methods in the Published Literature” or “The SAMPL Guidelines”
94	主要な解析を実施する	The “Statistical Analyses and Methods in the Published Literature” or “The SAMPL Guidelines”

No	タイトル	ガイドライン
95	補足的な解析について記述する	The “Statistical Analyses and Methods in the Published Literature” or “The SAMPL Guidelines”
96	補足的な解析について記述する	The “Statistical Analyses and Methods in the Published Literature” or “The SAMPL Guidelines”
97	補足的な解析について記述する	The “Statistical Analyses and Methods in the Published Literature” or “The SAMPL Guidelines”
98	仮説検定の報告について記述する	The “Statistical Analyses and Methods in the Published Literature” or “The SAMPL Guidelines”
99	リスク、割合、比の報告について記述する	The “Statistical Analyses and Methods in the Published Literature” or “The SAMPL Guidelines”
100	相関分析の報告	The “Statistical Analyses and Methods in the Published Literature” or “The SAMPL Guidelines”
101	関連解析の報告について記述する	The “Statistical Analyses and Methods in the Published Literature” or “The SAMPL Guidelines”
102	分散分析（ANOVA）または共分散分析（ANCOVA）を報告する	The “Statistical Analyses and Methods in the Published Literature” or “The SAMPL Guidelines”
103	サブグループ解析	Statistics in Medicine – Reporting of Subgroup Analyses in Clinical Trials
104	不均一性と統計的交互作用	Statistics in Medicine – Reporting of Subgroup Analyses in Clinical Trials
105	サブグループ解析における多重性	Statistics in Medicine – Reporting of Subgroup Analyses in Clinical Trials
106	事前解析と事後解析	Statistics in Medicine – Reporting of Subgroup Analyses in Clinical Trials
107	サブグループ解析の報告	-
108	シミュレーションを用いた症例設計	-

No	タイトル	ガイドライン
109	度数分布の階級数を決定する「ステージスの公式」	-
110	リッカート尺度の信頼性	-
111	仮説検定の理解と再現性	-

ヒト臨床試験（ヒト試験）で得られる結果は、様々な誤差を含んでいます。この誤差を小さくすることで介入効果を増大させることができます。オルトメディコは、多分野の専門家を有するため、様々なアプローチにより誤差を最小化する試験運営が可能です。引き続き、皆様にご満足いただけるような高品質なヒト試験を提供させていただきますので、今後ともどうぞ宜しくお願い申し上げます。